

# 2015年3月期 第1四半期決算概要

**NS** 日進工具株式会社

～超硬小径エンドミルのトップランナー～



2014年7月31日  
(証券コード6157)

# 目次

## 1. 2015年3月期1Qの業績 ～反動減の影響は軽微～

P. 3	...	エグゼクティブサマリー
P. 4	...	売上高の推移
P. 7	...	売上総利益の推移
P. 8	...	販管費の推移
P. 9	...	経常利益の推移
P.10	...	損益計算書サマリー
P.11	...	貸借対照表サマリー

## 2. 2015年3月期の業績見通し

P.13	...	業績予想見通し
P.14	...	微細・精密工具におけるニッチトップ戦略
P.15	...	2015年3月期の重点戦略
P.17	...	設備投資と減価償却費のトレンド
P.18	...	株主還元について（増配と株式分割）
P.19	...	株価推移とバリュエーション

## <参考資料>

P.20	...	IR情報サイトのご案内
P.21	...	創業時からの売上高・経常利益推移
P.22	...	過去5年間の業績と主要データの推移



# 1. 2015年3月期1Qの業績 ～反動減の影響は軽微～

# エグゼクティブサマリー

## 売上高・経常利益ともに四半期最高を更新

(百万円)

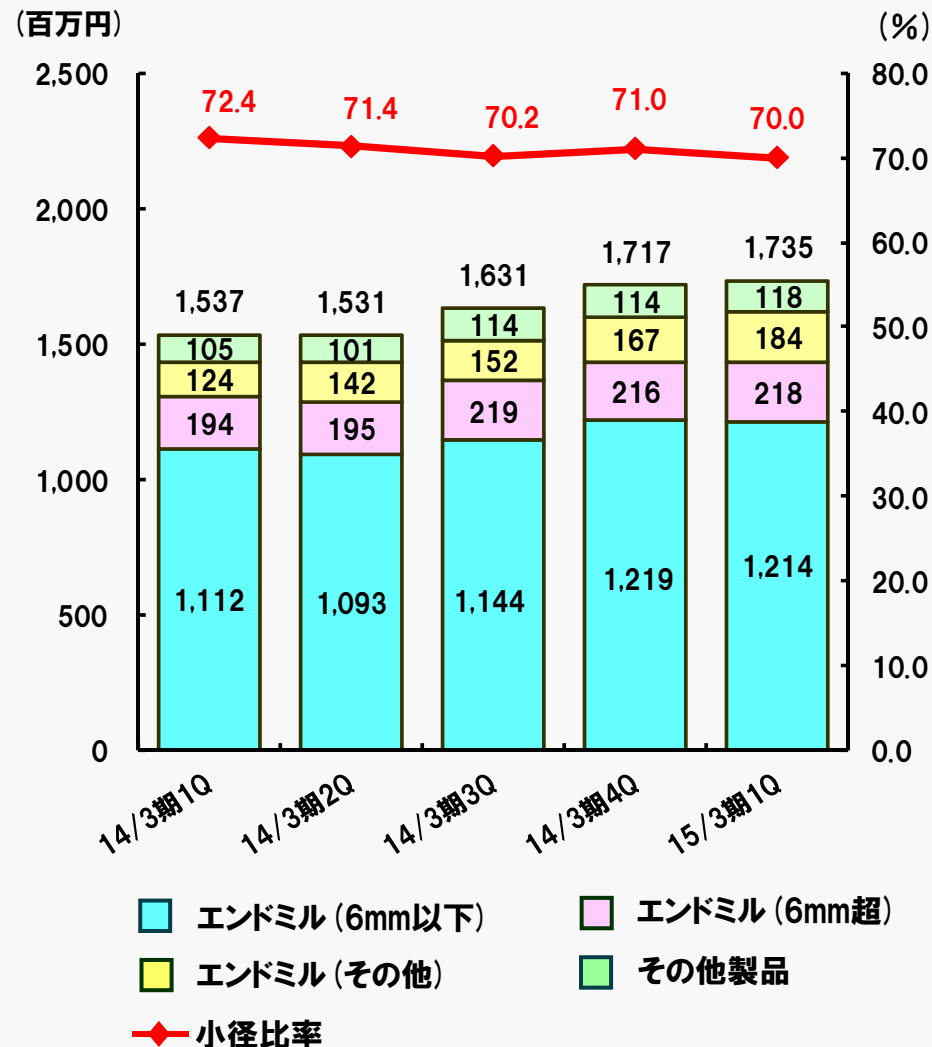
	2014年3月期 第1四半期	2015年3月期 第1四半期	上期予想	進捗率
売上高	1,537 (-2.0%)	1,735 (+12.9%)	3,320 (+8.2%)	52.3%
営業利益	229 (-25.4%)	383 (+67.6%)	540 (+12.4%)	70.9%
経常利益	246 (-22.9%)	405 (+64.1%)	560 (+11.9%)	72.3%
四半期純利益	141 (-23.4%)	255 (+80.1%)	335 (+3.6%)	76.1%

※( )内は前年同期比増減率

- 消費増税に伴う駆け込み需要の反動減が一部でみられたものの、緩やかな景気回復の流れが継続
- 1-3月期に比べある程度の減少を想定していたが、工具需要は堅調を継続。  
売上高は前年同期比12.9%増の1,735百万円と四半期ベースでの過去最高を更新
- 経常利益も同64.1%増加の405百万円と四半期として初めて4億円台に乗せた

# 売上高の推移① 製品別

## 製品別売上高と小径比率の推移



□ 当期の連結売上高は前年同期比  
12.9%増の1,735百万円

□ 米国市場の堅調や円安等から、  
自動車関連が底堅い動きを示したほか、  
電子部品関係もスマートフォンの新製品  
向けに牽引され好調

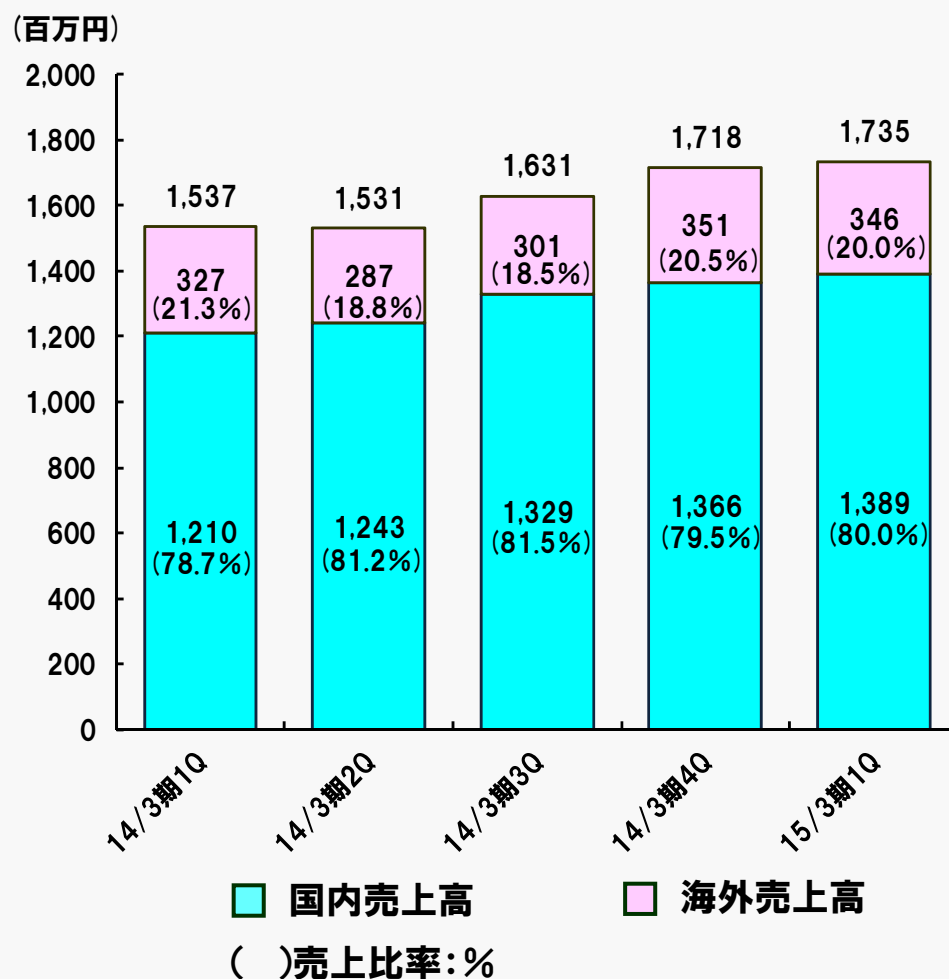
懸念された駆け込み需要の反動による  
影響は、それほどみられなかった

□ 製品別では、主力の「エンドミル (6mm  
以下)」が1,214百万円と前年同期比  
9.2%増加したが、他の商品区分も  
伸びたため、小径比率は同2.4ポイント  
低下し70.0%であった

※ 従来「エンドミル (その他)」に含めていた  
CBN製品やPCD製品を「エンドミル (6mm  
以下)」に組み替えて表示しています。

## 売上高の推移② 国内・海外

### 国内・海外売上高の推移

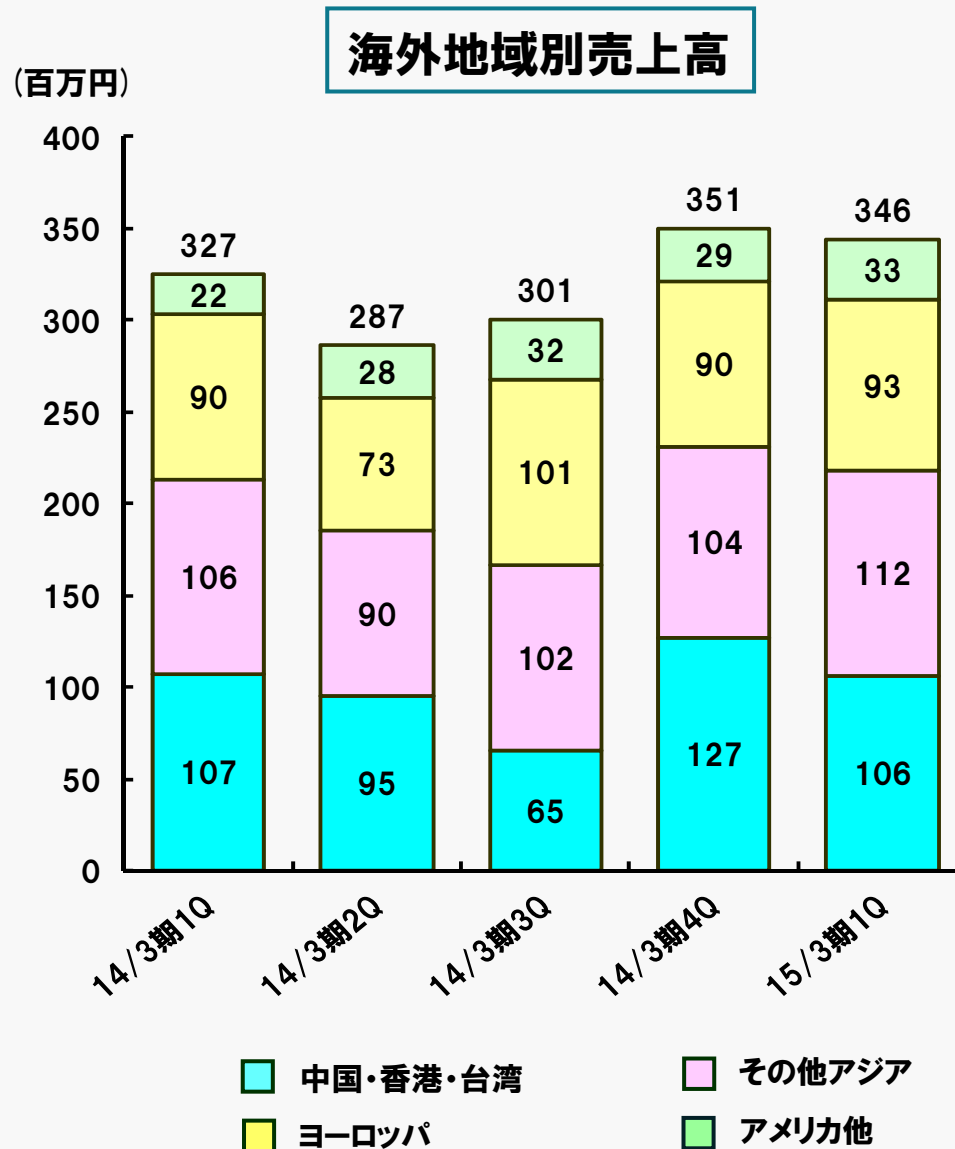


□ 国内売上高は前年同期比14.8%増の1,389百万円、海外売上高は同5.8%増の346百万円

□ 国内向けでは、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減が懸念されたものの、前四半期の好調を継続し堅調に推移

□ 海外向けでは、NS香港の連結対象期間となる1～3月において、中国での需要が落ち込んでいたため、前年同期比ではプラスとなったが、前四半期に比べ減少。国内向けが好調だったこともあり、海外売上高比率は20.0%とやや低下した

## 売上高の推移③ 海外地域別

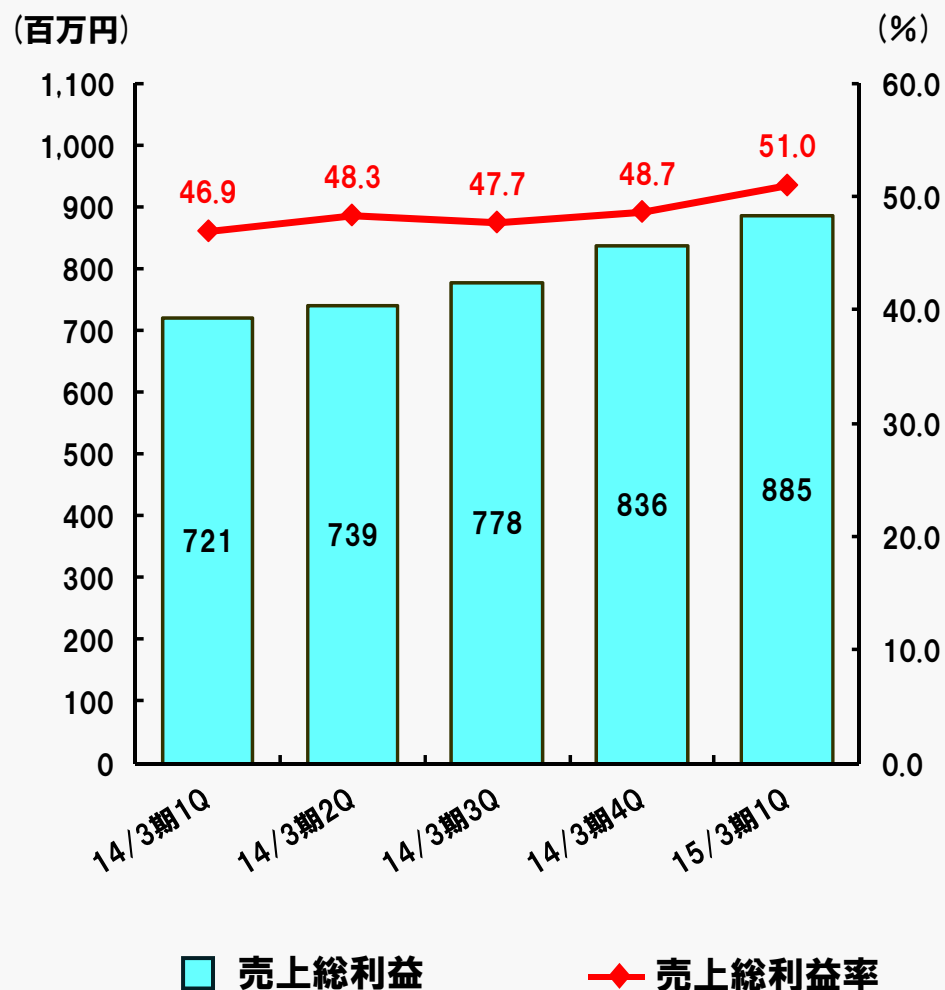


- ヨーロッパは債務危機から徐々に回復しつつあり、自動車関連や医療関連向けを中心に底堅く推移
- ASEANをメインとするその他アジアは、タイにおける政情不安等の影響から、想定よりも伸びていない状況
- 中国・香港・台湾では、NS香港の連結対象期間となる1～3月が、例年春節（旧正月）の影響を受けるほか、今年は低価格スマートフォンの台頭により、当社製品が多く使われる高機能スマートフォンの動きが鈍ったこと等により売上が減少。  
 なお、4月以降はスマートフォンの新製品向け需要にて回復傾向

※NS香港は12月決算のため、連結に当たり3ヶ月のズレが生じる。

# 売上総利益の推移

## 売上総利益と売上総利益率の推移



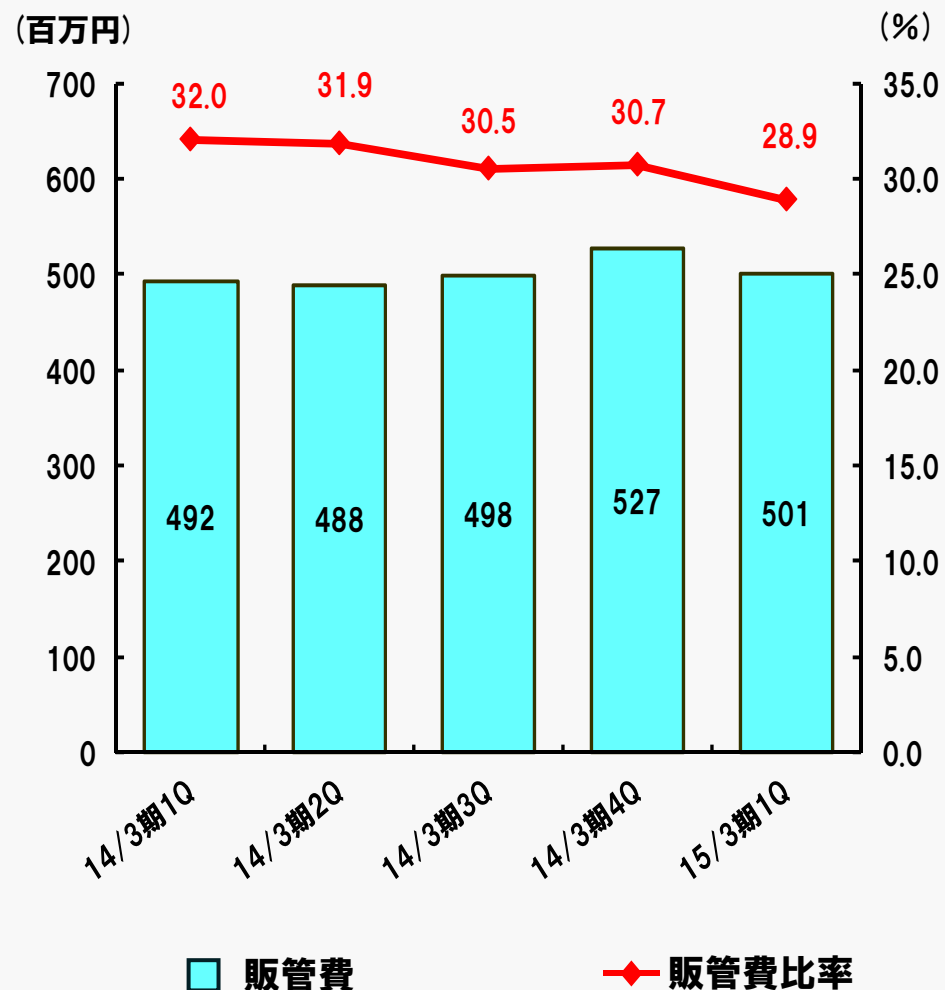
□ 売上総利益は前年同期比22.7%増の885百万円、売上総利益率は同4.1ポイント上昇し51.0%

□ 原材料費が前年同期比1割以上の上昇となったほか、電力費も大きく増加したが、減価償却費が減少したことや労務費の上昇が小幅であったこと等から、売上高の増加に比べ原価の上昇が抑えられ、売上総利益率が向上



# 販管費の推移

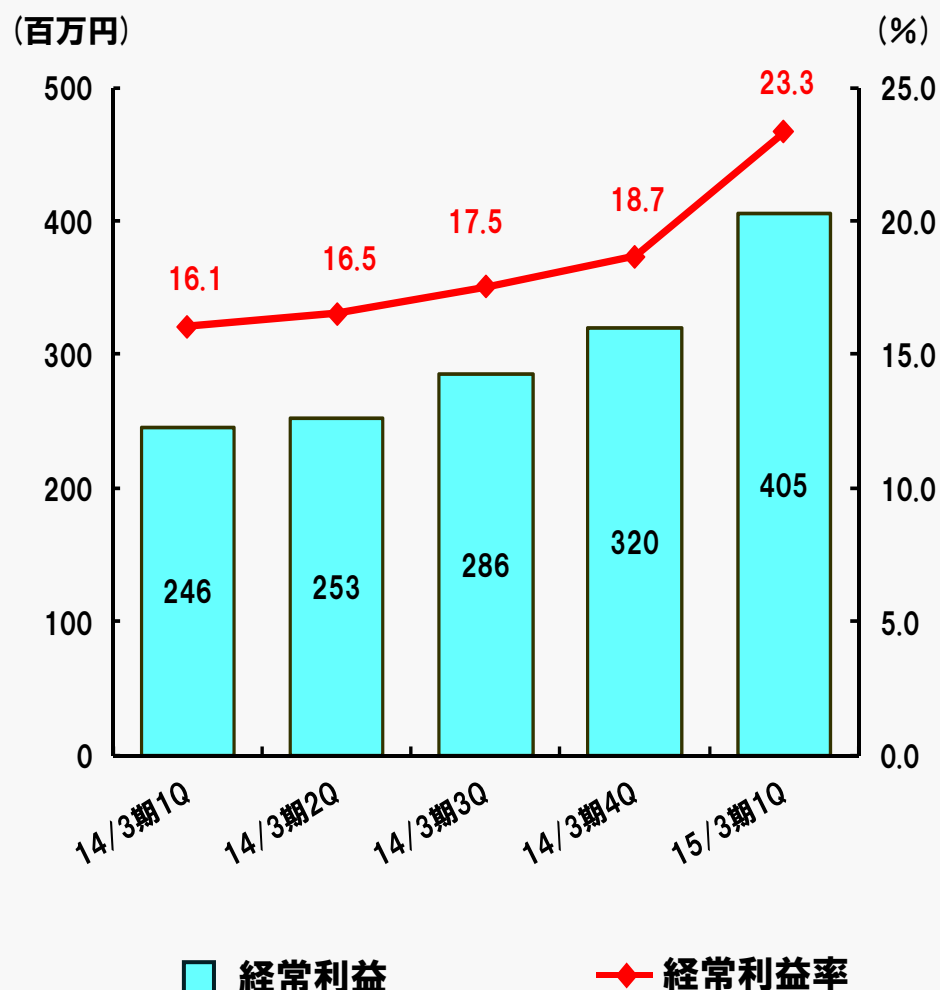
## 販管費と販管費比率の推移



- 販管費は前年同期比1.8%増加の501百万円
- 人件費は前年同期とほぼ変わらずの水準。国内外の販促活動の推進により、展示会費や広告宣伝費、交際費等が増加したが、全体としては微増に止まった
- 売上の伸びに対して販管費の伸びが抑えられたため、販管費比率は28.9%と、前年同期と比べ3.1ポイント低下

# 経常利益の推移

## 経常利益と経常利益率の推移



- 経常利益は売上高の増加を主因に前年同期比64.1%増の405百万円。四半期として初の4億円台乗せとなった
- 売上高経常利益率は同7.2ポイント上昇し23.3%  
(売上総利益率が4.1ポイント上昇、販管費比率が3.1ポイント低下)
- 売上高の増加に伴い、変動費はその分増加したが、固定費が微増に止まったことにより利益が大きく増加した

# 損益計算書サマリー

(百万円)

	2014/3期1Q	2015/3期1Q	前年同期比	コメント
売上高	1,537	1,735	+12.9%	1-3月に比べある程度の減少を想定していたが、工具需要は堅調を持続し、売上高は四半期ベースでの過去最高を更新
売上総利益(率)	721 (46.9%)	885 (51.0%)	+22.7%	原材料費等変動費は増加したが、製造経費の一部や労務費等固定費が微増に止まり原価の上昇が抑えられた
販管費(率)	492 (32.0%)	501 (28.9%)	+1.8%	展示会費等は増加したものの、全体としては抑えられ、売上高販管費比率は低下
営業利益(率)	229 (14.9%)	383 (22.1%)	+67.6%	売上増に伴う売上総利益の増加と販管費の抑制により営業利益は大きく増加
経常利益(率)	246 (16.1%)	405 (23.3%)	+64.1%	経常利益率は前年同月比7.2ポイント上昇し23.3%、目標としている20%を超えた
当期純利益(率)	141 (9.2%)	255 (14.7%)	+80.1%	
設備投資額	215	100	-53.4%	自動化設備等主だった設備投資計画が下期に集中するため、第1四半期としては前年同期を下回った
減価償却費	137	112	-18.0%	前期における設備投資額がその前の2期を大きく下回ったことにより減少
従業員数	285人	285人	+0.0%	新規採用者数と退職者数が均衡

※( )は売上高に対する比率

# 貸借対照表サマリー

(百万円)

	2014/3	構成比	2014/6	構成比	前期比
(資産の部)					
I 流動資産	5,625	62.0%	5,561	62.1%	-1.1%
現金及び預金	2,856	31.5%	2,768	30.9%	-3.1%
受取手形及び売掛金	1,094	12.1%	1,109	12.4%	+1.4%
商品及び製品	867	9.6%	881	9.8%	+1.6%
II 固定資産	3,450	38.0%	3,390	37.9%	-1.7%
有形固定資産	3,116	34.3%	3,033	33.9%	-2.7%
無形固定資産	29	0.3%	51	0.6%	+76.9%
投資その他の資産	303	3.3%	305	3.4%	+0.6%
資産合計	9,075	100.0%	8,951	100.0%	-1.4%
(負債の部)					
I 流動負債	1,028	11.3%	828	9.3%	-19.5%
買掛金	225	2.5%	247	2.8%	+9.7%
II 固定負債	366	4.0%	375	4.2%	+2.3%
負債合計	1,395	15.4%	1,203	13.4%	-13.7%
(純資産の部)					
純資産合計	7,680	84.6%	7,747	86.6%	+0.9%
負債・純資産合計	9,075	100.0%	8,951	100.0%	-1.4%

- 法人税や賞与の支払いにより、未払法人税等や賞与引当金を中心に流動負債が200百万円減少
- 資産側では上記支払により現預金が減少したほか、原材料の減少から棚卸資産も若干の減少となった。固定資産においても減価償却の進捗により機械装置等が減少
- 無借金経営  
(有利子負債額はゼロ)
- 自己資本比率86.6%と強固な財務体質を維持



## 2. 2015年3月期の業績見通し

## 業績予想見通し

## 2015年3月期の業績予想

(百万円)

	2014/3 実績	2015/3 予想	前期比	コメント
売上高	6,418	6,760	+5.3%	自動車、スマートフォン、LED関連等の金型や部品加工向けが牽引し増収を見込む
営業利益	1,069	1,130	+5.7%	増収による増益を見込むが、電気料金の上昇等コストも上がるため、営業利益率は横ばいを想定
経常利益	1,107	1,160	+4.8%	家賃等の雑収入による営業外収益を見込む
当期純利益	694	715	+2.9%	前期は子会社の補助金により、特別利益が30百万円強発生しており、当期純利益を引き上げた
設備投資額	469	704	50.1%	通常の自動化推進の設備投資に加え、販売管理システム、会計システムのリニューアル投資を予定
減価償却費	534	534	+0.1%	減価償却費は前期とほぼ同水準を想定
EPS	111.12円	114.36円	+2.9%	10月1日付けにて普通株式1株につき2株の割合で分割を予定。株式分割の影響を考慮している
1株当り配当金 (配当性向)	30円 (27.0%)	25円 (21.9%)	-16.7%	配当性向20%を目処 (前期は創業60周年記念配当10円を含む) 10月1日付けにて普通株式1株につき2株の割合で分割を予定。株式分割の影響を考慮している

# 微細・精密工具におけるニッチトップ戦略

## Made in Japanで勝負



### 生産力

高品質製品を安定的に供給

自社開発機による自動化の推進  
他社が追随できない生産性を誇る



### 開発力

CBN製品等次世代製品への取り組み  
カギは製品の超微細化と長寿命化

**超** モノづくり部品大賞等を受賞

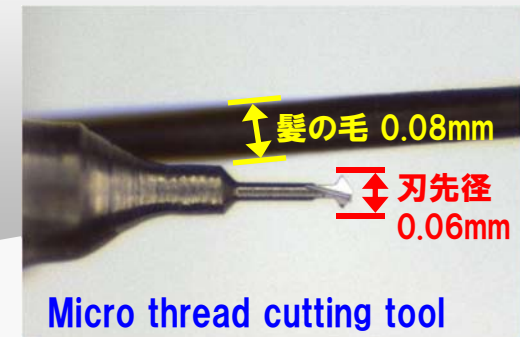
小径エンドミルではトップシェア30%に

### 販売力

微細・精密加工を主とした加工技術提案  
海外でも急速に認知度がアップ



高付加価値に特化



## 強固な財務基盤と高い収益力

【有利子負債 ゼロ】

【経常利益率 17.2%】

(2014/3期)

## 2015年3月期の重点戦略 ①

### 1. 安定した品質を安定して供給する

- お客様に安心して使っていただくための絶対条件
- たゆまぬ生産技術の向上と在庫の充実

### 2. コストダウンの推進

- 自動化、無人化を進め、Made in Japanのものづくりを守る

### 3. 高付加価値製品の拡販

- 当社の強みを伸ばし、差別化を図る
- 講習会等を通じてCBN・PCD製品を積極的にPRし、裾野の拡大を図る

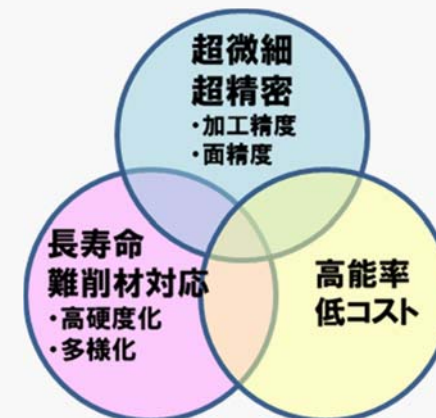
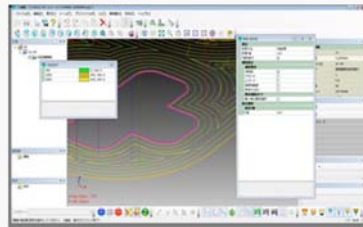




## 2015年3月期の重点戦略 ②

### 4. 開発のスピードアップ

- ユーザーニーズに即した製品 + 市場創設型製品
- CBN製品・PCD製品のラインアップ強化
- 周辺技術の強化



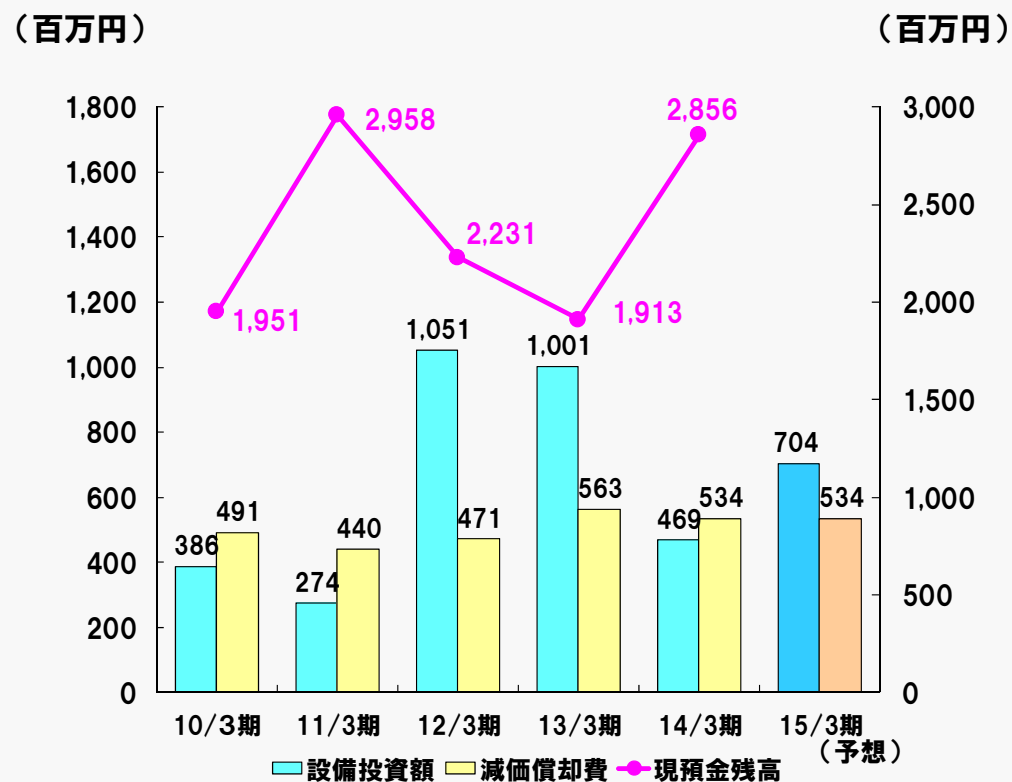
マーケットニーズと工具の方向性

### 5. 管理業務の見直し

- シンプルな管理手法で無駄を排除
- 販売管理システム、会計システムのリニューアル
- 継続的改善により、業務レベルを向上しつつ簡素化を図る

# 設備投資と減価償却費のトレンド

## 設備投資、減価償却費及び現預金残高の推移

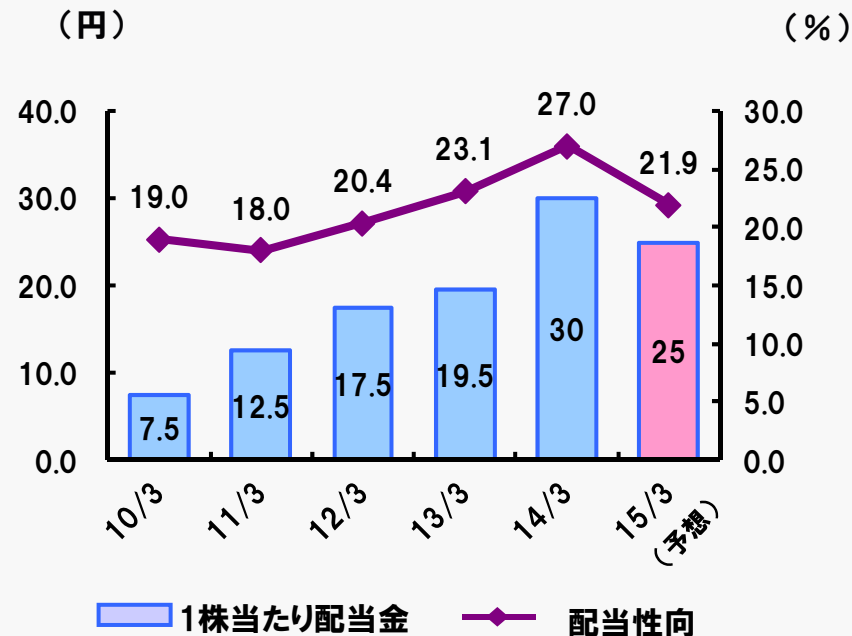


(左軸:設備投資額・減価償却費、右軸:現預金残高)

- 12年3月期  
将来の仙台工場拡張に備えた隣接地取得により、設備投資額が上昇
- 13年3月期  
牧野工業白河工場の建設により設備投資額が高水準
- 14年3月期  
自動化推進のための設備投資を継続、特殊要因なく設備投資額は減少
- 15年3月期 (予想)  
販売・会計システムの更新費用1.3億円を含めて7億円程度を予定  
減価償却費は横ばいに

# 株主還元について（増配と株式分割）

## ① 配当と配当性向の推移



業績に応じた利益還元

（配当性向20%を目処）

- 2014年3月期は普通配当20円に創業60周年記念配当10円を上乗せし1株当たり30円
- 2015年3月期は増益を見込むため普通配当1株当たり25円を予定（業績予想に対する配当性向は21.9%）

※ 上記の表及び記載は下記②の株式分割の影響を考慮しています

## ② 株式分割を予定

- 2014年10月1日に1株 → 2株の株式分割を予定（7月9日発表済）
- 従来からの経営課題であった「流動性」の改善を図り、投資家の利便性向上へ

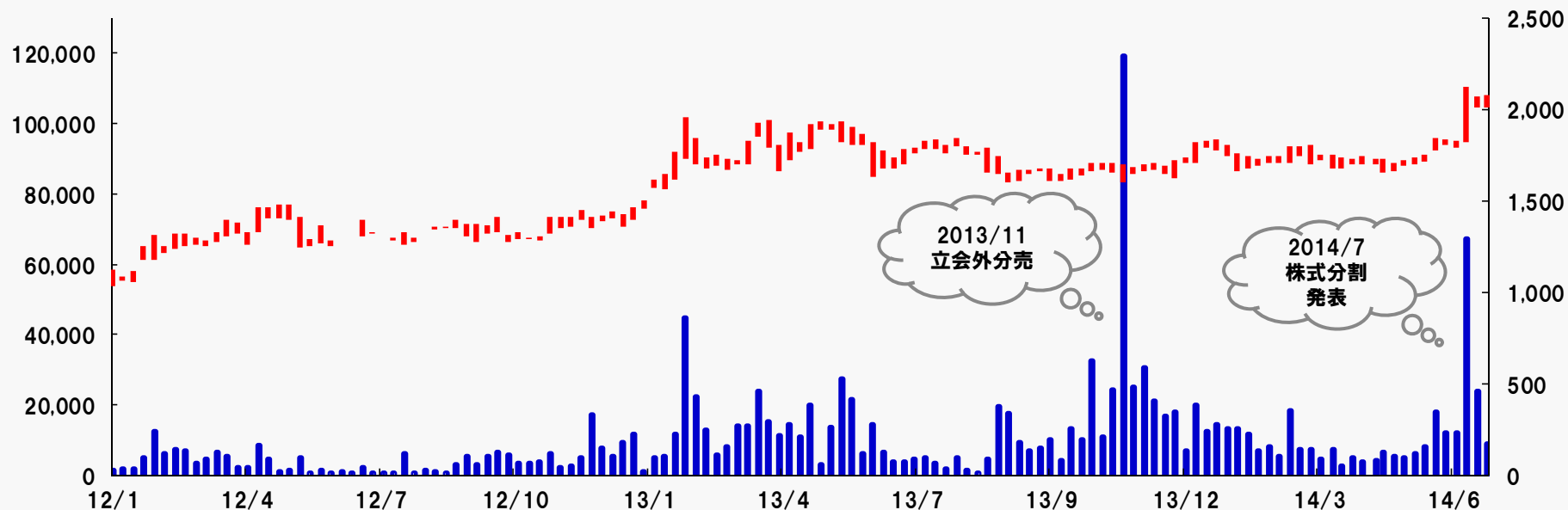
# 株価推移とバリュエーション

(出来高:株)

■ 出来高  
■ 株価

週足ベース株価推移  
(2012年1月～2014年7月)

(株価:円)



## バリュエーション (2014年7月25日現在)

時価総額	: 64.7億円	PER (15/3期予想)	: 9.05倍
ROE (14/3期実績)	: 9.4%	PBR (14/3期実績)	: 0.84倍

**株価は下げ相場でも比較的堅調に推移**

# 〈ご参考〉IR情報サイトのご案内



## メニュー表示

「トップメッセージ」、「よくあるご質問」、「IRお問い合わせ先」  
⇒メニュー名クリックで各ページに移動します

それ以外はメニューにカーソルを合わせると各メニューの  
詳細ページ項目が表示されます  
(項目クリックで該当ページに移動できます)

## 投資家の皆様へ

投資家の皆様に特にご覧頂きたいページをピックアップしています

## IRニュース

適時開示情報や説明会のお知らせ、レポート更新など最新の  
IR情報を掲載しています

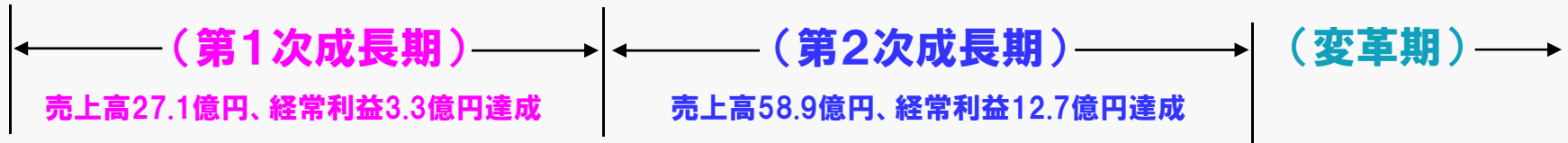
「IRニュース一覧へ」をクリックすると、表示されていない過去の  
IRニュースをご覧いただけます

## メニュー項目

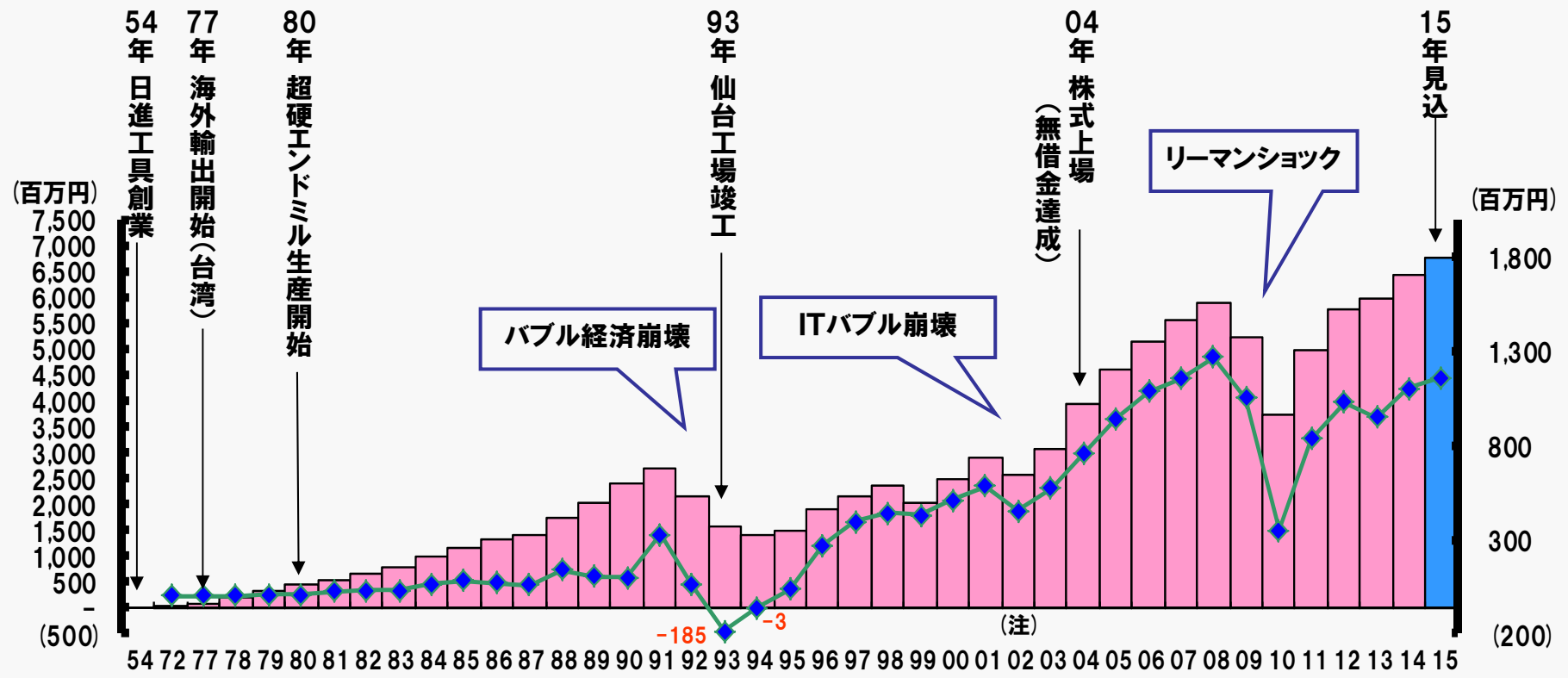
ワンクリックで各メニューの詳細ページに移動できます

URL: <http://www.ns-tool.com/ir/>  
当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください

# 〈ご参考〉創業時からの売上高・経常利益推移



主要 歴代 社長	<b>後藤 進二</b>	<b>後藤 勇</b>	<b>後藤 弘治</b>
	創業から事業基盤をつくる	成長路線を築き上場を果たす	13年4月就任



(注) 2002年は7ヶ月決算だが、12ヶ月分に換算

■ 売上高(左目盛) ◆ 経常利益(右目盛)

## 〈ご参考〉過去5年間の業績と主要データの推移

(百万円)

	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期
売上高	3,857	4,977	5,781	5,997	6,418
経常利益	361	834	1,032	951	1,107
当期純利益	242	426	535	527	694
有利子負債額	0	0	0	0	0
純資産額	5,784	6,164	6,678	7,106	7,680
総資産額	6,363	7,143	7,906	8,297	9,075
自己資本比率	90.9%	86.3%	84.5%	85.6%	84.6%
設備投資額	386	274	1,051	1,001	469
減価償却費	491	440	471	563	534
1株当たり 配当金	15円	25円	35円	39円	60円
従業員数	205人	206人	232人	281人	284人

※2014年10月1日実施予定の株式分割の影響を考慮していません

# お問い合わせ

## 日進工具株式会社

執行役員管理部長 田島 寛 / IR担当 今関 弘毅

TEL : 03-3763-5672

FAX : 03-3764-8225

E-mail : [ir@ns-tool.com](mailto:ir@ns-tool.com)

将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、  
確約や保証を与えるものではありません。  
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。